学校番号	１０６

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	1 年	LANDMARK English Communication I The Wizard of Oz、The Piano

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰは、「話す」「書く」「聞く」「読む」の４技能を身につけるための授業です。教科書に書かれてある内容について、聞いたり読んだりしたことを基に話したり書いたりする言語活動を取り入れていきますので、積極的に参加しましょう。
・音読は外国語を学ぶ時に大事な活動の一つです。授業の中で練習の機会がありますので、手本を良く聞いて､英語のリズムやイントネーションに気をつけて相手に伝える気持ちで音読してください。
・語彙や文法の学習は、文のしくみを知って内容を理解する上では欠くことのできないものですが、それがコミュニケーションの中でどのように使われているのかをしっかり確認しておきましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価
・簡単な英語で自分の考えを表現することができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・日常的な挨拶ができ。身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	コミュⅠ プレゼンテーション 英表Ⅰ プレゼンテーション	・文法や語彙の基礎力を活用することができる。 ・自分のことや学校､地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで､日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	コミュⅠ 定期考査 小テスト 英表Ⅰ 定期考査	・リスニングの基礎力を活用することができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきり話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞きとることができる。	コミュⅠ リスニング小テスト 英表Ⅰ リスニング小テスト	・大きな抵抗感なく、高校基礎レベルの長文を読むことができる。 ・５０語程度の英文を後戻りすることなく、一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	コミュⅠ 定期考査 英表Ⅰ 定期考査

3　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解

実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を実に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1（５時間）	日本人にはなじみのある血液型占いが他国ではどのように思われているのかを知り、国や地域によって考え方の違いがあることを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・血液型占いが他国では一般的でない子を知る。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・自分や相手の血液型を言ったり、聞いたりして積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本と他国の血液型に対する考え方について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・日本と他国の血液型に対する考え方について、読んだことを理解できる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・動名詞と不定詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞と不定詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 2（５時間）	日常的に食べているカレーが、どこで、どのように発祥し、どの経路を経て日本に入りその後世界へ広がっていったのかを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・カレーの発祥地やどのようにして世界に広まったのかについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・カレーについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・カレーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・カレーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・日本ではよく食べられているカレーがどのように世界中に広まったかについて、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・日本でよく食べられているカレーがどのように世界中に広まったかについて、読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・分詞の後置修飾、現在完了形の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞の後置修飾、現在完了の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3（５時間）	日本では馴染みの制服だが、海外にもあるのか、あるとしたらどのような制服なのか、世界の征服事情を読み進める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・制服について考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・制服について考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・制服についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・制服についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・海外の制服事情について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・海外の制服事情について、読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・関係代名詞、S＋V＋疑問詞節、S＋V＋0＋疑問詞節使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	関係代名詞、S＋V＋疑問詞節、S＋V＋0＋疑問詞節使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 4（５時間）	ゴリラのコミュニケーション方法を通して、非言語コミュニケーションについて学ぶ。また、生徒になじみの少ないゴリラが、生徒に身近な携帯電話と深く関わっていること	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ゴリラにいて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・ゴリラについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ゴリラについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・ゴリラについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

	も理解させる。	・ゴリラについて、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・ゴリラについて、読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・seem の用法を理解する。 ・現在完了進行形の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・seem の用法を理解している。 ・現在完了進行形の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5（５時間）	科学技術の進歩の中で、インターネットを例にとり、書き言葉にどのような変化をもたらしているのか知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		インターネットについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・インターネットについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・インターネットについての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・インターネットについての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・インターネットについて読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	インターネットについて読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・形式主語構文を理解する。 ・知覚動詞の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	形式主語構文を理解している。 ・知覚動詞の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 6（５時間）	エコエネルギーの可能性を広げる試みの1つとして、報道写真家の山田周生さんが行った使用済みの植物油のみを用いた世界一周の旅について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・環境問題について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・環境問題について知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・環境問題について自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・環境問題についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・山田さんの行った活動ついて、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・山田さんの行った活動について、読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・過去完了形の使い方を理解する。 ・使役動詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・過去了形を理解している。 ・使役動詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 （5時間）	生徒本人が屋久島のエコツアーに参加しているとの想定のもと、ツアーに向けたオリエンテーションの様子を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・屋久島のエコツアーについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・屋久島のエコツアーついて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・屋久島のエコツアーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・屋久島のエコツアーについてまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・屋久島のエコツアーについて、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・屋久島のエコツアーについて読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・関係代名詞と関係副詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞と関係副詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 （5時間）	日本を代表する会議通訳の長井鞠子さんの取り組みについて知り、自分の英語学習について再考する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・　通訳について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・　通訳について知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・通訳について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・通訳について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・通訳について、読んだことを理解して、自分の英語学習にどのように生かすのか考える。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・通訳について、読んだことを理解して、自分の英語学習にどのように生かすのか考えている。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・関係代名詞の what の使い方を理解する。 ・分詞構文を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の what の使い方を理解している。 ・分詞構文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （5時間）	今世紀半ばに実現が期待されている宇宙エレベーターについて知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・宇宙エレベーターについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・宇宙エレベーターについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・宇宙エレベーターについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・宇宙選れ米たーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・宇宙エレベーターについて読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・宇宙エレベーターについて読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・仮定法過去の用法を理解する。 ・倍数表現の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去の用法を理解している。 ・倍数表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 （5時間）	1980 年に起こったエルトゥールル号の事件と、1985 年に起こったイラン・イラク戦争中の日本人救出劇について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・2 つの事件について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・2 つの事件について知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・2 つの事件について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・２つの事件について、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・２つの事件について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・２ｔの事件について、読んだことを理解している。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・関係代名詞の非限定用法の使い方を理解する。 ・仮定法過去完了の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の非限定用法の使い方を理解している。 ・仮定法過去完了の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。